

2・3回目の実績報告書記入例

(店舗賃借料)

様式第6号(第12条関係)

○最終提出期限について

1年目: 交付決定日より1年を経過してから15日以内

2年目: 交付決定日より2年を経過してから15日以内

令和○年○月○日

公益財団法人 東京都中小企業振興公社

理 事 長 殿

〒 ○○○-○○○○

住 所 東京都□□区△△町×-×-×

名 称

代表者氏名 東京 太郎

電 話 番 号 03-○○○○-××××

実印

交付決定通知書に記載された日付・文
書番号を記入してください。

令和2年度(○)若手・女性リーダー応援プログラム助成事業

() 商店街起業・承継支援事業 (いずれかに○)

実績報告書

令和○年□月□日付△東中企助第※※※号をもって交付決定の通知があった助成事業が完了
したので、下記のとおり報告いたします。

記

「商店街起業・承継支援事業」の方の
み記入してください。

1 事業区分(商店街起業・承継支援事業のみ) ☐開業 ☐多角化 ☐事業承継

2 助成事業実施期間 令和2年○月○日 ~ 令和2年○月○日

3 助成事業実施内容及び成果 (付 表1)

4 助成事業収支決算書 (付 表2)

5 助成対象資産表 (付 表3)

6 添付書類 ア 助成事業の実施に係る帳票類

①見積書 ②契約書 ③注文書・請書 ④納品書 ⑤請求書
⑥振込控え ⑦当座勘定照合表、通帳等

イ 助成事業の成果を明らかにするための書類

① 図面 ②写真 ③研修修了証
④ 開業届(写し)又は登記簿謄本(履歴事項全部証明書)
⑤ 商店街会員であることを証する書類 ⑥ 許認可取得を証する書類 等

交付決定通知書に記載された内容を反
映させてください。

助 成 事 業 実 施 内 容 及 び 成 果

- 1 助成事業に要した経費（決算額） 付表 2 収支決算書のとおり
- 2 助成予定額（交付決定通知書の金額）金 5,160,000 円
- 3 変更後助成予定額（変更承認通知書の金額）金 4,875,000 円
- 4 助成事業実施内容及び成果

(1) 事業の内容

(例) △△△商店街でメキシコ料理を開業。

(2) 開業日 令和○年○月○○日

(3) 事業の経過（日程を含む）

(例) ○月×日 店舗改装工事着工
○月□日 ○○研修受講
□月※日 □□（備品）購入
□月☆日 ○○（設備）購入
□月□□日 ××研修受講費
△月×日 チラシ作成（▲▲駅周辺のポスティング）
△月○日 工事竣工
☆月※日 工事代金支払い（事業完了）
○月○○日 開業

(4) 事業の成果

※開業時は、記載不要です

申請時に記載した損益計画を記入の上、実績と比較してください。

損益対比表

申請時に記載した損益計画表と実績を比較してください。

助成対象事業開始後の損益比較

(単位：千円)

		1 年目損益計画 A (月平均)	1 年目損益実績 B (月平均)	A - B (月平均)
売上高…①		593	640	+47
売上原価…②		178	256	+78
販管費	従業員人件費	0	0	0
	家賃	220	220	0
	支払利息	30	30	0
	その他	200	200	0
	合計…③	450	450	0
営業利益 ① - ② - ③		-35	-66	▲31
従業員数		0 人 (うちパート・アルバイト 0 人)	0 人 (うちパート・アルバイト 0 人)	0 人 (うちパート・アルバイト 人)
積算根拠 <div>・売上高 ・売上原価・販管費 ・損益分岐点売上高 ・損益分岐点比率 等についてご記入ください ※飲食業は席数や回転数、その他の業種 (小売・サービス業等)は1日来店客数を踏まえて記入</div>		【売上高】 <イートイン> 客単価 1,000 円×16 席×0.8 回 転=12,800 円 <テイクアウト> 客単価 500 円×20 人=10,000 円 <合計> 12,800 円+10,000 円=22,800/ 日 22,800×26 日=592,800 円/月 【売上原価・経費】 変動費：売上原価のみとし、原価率は概ね 30%を想定 固定費 ①従業員人件費 0 円 ②家賃 220,000 円 ③支払利息 30,000 円 ④その他（光熱水費等）200,000 円 ①+②+③+④=450,000 円 【損益分岐点売上高】 450,000÷（1-0.3）=642,857 円 【損益分岐点比率】 642,857÷592,800×100 =108.4%	【売上高】 <イートイン> 客単価 1,000 円×16 席×0.6 回転=9,600 円 <テイクアウト> 客単価 500 円×30 人=15,000 円 <合計> 9,600 円+15,000 円 =24,600/日 24,600×26 日=639,600 円/月 【売上原価・経費】 変動費：天候不良で原材料が高騰し、40%程度となった。 固定費 ①従業員人件費 0 円 ②家賃 220,000 円 ③支払利息 30,000 円 ④その他（光熱水費等）200,000 円 ①+②+③+④=450,000 円 【損益分岐点売上高】 450,000÷（1-0.4） =750,000 円 【損益分岐点比率】 750,000÷639,600×100 =117.3%	

(5) 成果を踏まえた今後の事業展開

(例) 1年目実績については、売上高 640 千円、営業利益▲66 千円の赤字となった。売上高については、イートイン部門は悪天候が続いたことから不調であったが、テイクアウト部門においてはメキシコ料理が手軽に食べられることが顧客にうけ、計画を上回る実績となり、損益計画対比+47 千円となった。営業利益については、前述のとおり悪天候が続いたことから原材料が高騰し、計画対比▲31 千円の赤字着地となった。

今後については好調であったテイクアウトのメニューを増やすほか、外部の宅配サービスを利用することで売上げの増加を図っていきたい。なお売上原価については天候不良による一過性のものではあるが、再度仕入先の見直しを行い、少しでも原価率を下げるように心掛けたい。

また販促活動については、オウンドメディアだけではなく、アードメディアについても力を入れていきたい。

申請時の損益計画と実績の差について、出来る限り要因等を分析してください。また、営業利益において計画と実績に大きな乖離がある場合や、赤字の場合は、詳細な要因分析と改善策をご記入ください。

(6) 商店街活性化のために実践したことと今後取り組みたいこと

(例) 当助成金採択後に、自身が所属している〇〇商店会の理事長と今後の商店街のイベントについて話し合った。商店街として店舗、客層共に高齢化が進んでいることから、若者の開業を誘致し若返り化を図っていくことや、近年、商店会近隣にファミリータイプのマンションが増えてきたことから、子供向けのイベントを土、日に行うことで近隣住民との距離を縮めていくこととなった。最近では積極的な姿勢が評価され、商店会の役員に推薦された。

今後については、パブリシティをうまく活用していき、〇〇商店会の知名度を全国的なものにしていきたい。

商店街で行った活動及び今後取り組みたいことを詳細に記入してください。

様式第 6 号
(付表 2)

助 成 事 業 収 支 決 算 書

1 収入の部

(単位：円)

収 入 区 分	金 額	公社記入欄
1 自 己 資 金	500,000	
2 借 入 金	2,000,000	
3 そ の 他		
合 計	2,500,000	

一致するように記入してください。

2 支出の部

(単位：円)

経 費 区 分	予 算 額 ①		決算額 ② = A + B	差 引 残 ① - ②	公社記入欄
	助成事業に要 する経費	変 更 後			
事業所整備費					
実務研修受講費					
店舗賃借料(1 年目)	2,500,000	2,500,000	2,500,000		
店舗賃借料(2 年目)					
合 計	2,500,000	2,500,000	2,500,000		

(注) 1 収入の合計と支出の決算額の合計は一致します。

2 決算額の欄には別紙 1 - 1 の「助成事業に要する経費 (A + B)」の合計を記入してください。

様式第 6 号
(付表 3)

助成対象資産表〔50万円（税込）以上の購入物一覧表〕

[illegible]